

多摩大って 実際どう?

SGSの
先輩に
聞いてみた!



どこよりもあたたかく
居心地がいい!



少人数だから先輩と
仲良くなれる!



英語の授業がクラス制だから
高校みたい!

グローバルスタディーズ学部で学ぶ
先輩たちのリアルな声を聞いてみよう!



グループワークで学年を超えて
沢山話せる!



A peaceful place!



英語の先生を目指すなら
間違いない大学!!

Check!

多摩大学の詳しい情報は大学案内をチェック!

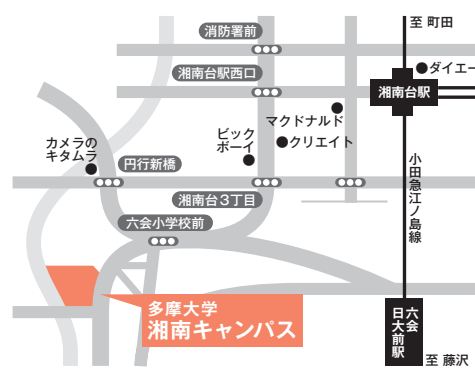
多摩大学 デジタルパンフ

多摩大学 グローバルスタディーズ学部 [湘南キャンパス]

TAMA UNIVERSITY SHONAN CAMPUS SCHOOL OF GLOBAL STUDIES

〒252-0805 神奈川県藤沢市円行802
TEL: 0466-83-7911 (入試課)
E-MAIL: nyushi-shonan@gr.tama.ac.jp

【湘南キャンパスへのアクセス】
小田急線・相鉄いずみ野線・横浜市営地下鉄
「湘南台」駅 徒歩12分



TAMA UNIVERSITY
SHONAN CAMPUS
SCHOOL OF
GLOBAL STUDIES



湘南キャンパス

グローバルスタディーズ学部



『ホスピタリティ・マネジメントコース』と

『国際教養コース』

2つのコースで世界を繋ぐ人材へ

グローバルスタディーズ学部では、語学力と教養を高めて社会課題への感度を養います。世界に目を向けつつ地域課題の解決に貢献できる人材を育成すると同時に、ホスピタリティ教育も充実させ、サービス業や観光業で活躍する素養を身につけます。



湘南という街から、 世界を見る。

湘南の街を訪れ、地域の魅力や課題を学ぶ実践型授業。地域を理解し、社会に貢献する視点を育てます。

関連授業 『Discover 藤沢・湘南』



“英語が話せる”を、“仕事で使える”に。

航空・ホテル・ビジネスの現場をイメージしながら、英語を実践的に学びます。相手にしっかり届くコミュニケーション能力を磨いていきます。

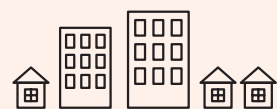
関連授業 『エアライン英語』 『ホテル・接客英語』 『ビジネス英語入門』



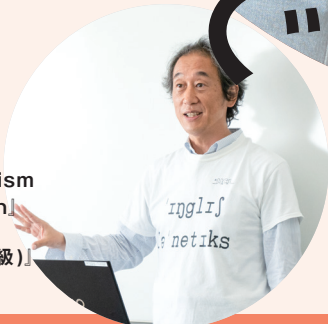
英語は、

“一人で伸ばさなくていい”。

TOEIC対策や発信力を強化し、英語力を確かな実力へ。学修支援室のサポートも活用しながら、目標達成まで着実に力を伸ばします。



関連授業 『Travel and Tourism Workplace English』 『TOEIC対策講座(上級)』



こんな人にオススメ! グローバルスタディーズ学部(SGS) 5つのポイント

1 アットホームな環境で学びたい!



2 海外出身教員のもとで国際感覚を磨きたい!



3 問題解決能力を養いたい!



4 コミュニケーション能力を高めたい!



5 グローバルなホスピタリティを学びたい!



“また来たい”は、つくれる。

観光やサービスの現場を題材に、おもてなしの本質を学びます。相手の期待を超える対応力と、実践力を身につけていきます。

関連授業 『観光学概論』 『おもてなし外国語:英語』 『異文化間コミュニケーション論』



世界の“駆け引き”を、読み解け。

元外交官の講義を通して、国際政治のリアルに触れます。ニュースの裏側にある意図や交渉を理解し、世界を読み解く力を養います。

関連授業 『国際政治学』



難しそう? ——その先に、 おもしろさがある。

統計や心理を身近なテーマから学び、データや人の考え方を理解します。基礎から無理なく学び、実社会で生きる力へとつなげます。

関連授業 『統計』 『認知心理学』 『グローバルゼーション学入門』



MESSAGE

SGSを志望するあなたへ

勉強だけでなく、視野をグローバルに広げて、 今を思いっきり楽しんで欲しい。



グローバルスタディーズ学部 学部長 新美 潤

大学時代は、高校までのそれまでとも、社会人として生きるそれ以後とも異なる、ある意味特別な時期です。勉強はもちろんのこと、それ以外にも海外研修、留学、サークル活動、ボランティア活動、アルバイト、恋愛等々、たくさんを経験できます。ここグローバルスタディーズ学部(SGS)には、チャレンジのための扉が無数に開いています。ぜひ、色々なことにチャレンジしてみてください。そのために私たちが精一杯サポートします。

オーストラリア

長期留学：ロイヤルメルボルン工科大学 4ヶ月（秋学期）



Q.1 留学って実際いくらかかるの？

オーストラリアに4ヶ月間の留学でした。滞在費や食費・交際費など合わせて1ヵ月あたり約27万円、全部で約126万円ほどかかりました。



Q.2 留学先の授業についていける？

2つ授業を履修していましたが、異文化コミュニケーションの授業は専門用語や議論が多く予習が大変でしたが力になりました。一方、中国語の授業では比較的理解しやすい英語だったので学びやすかったです。

Q.3 英語力はどのくらい必要？

最低限、言いたいことが言えるくらいのポキャプラーが必要だと思います。話す機会がたくさんあるので、渡航前に英語に多く触れておくことで、より英語力の向上に繋がると感じました。

Q.4 現地で友達はできた？



学内外で多くの友人を作れました。授業やイベントを通して親しくなり、学外ではバスケの地域イベントにも参加しました。現在でも連絡を取り続け、交流は今も続いています。

留学中は自分で行動しなければ解決しない

ホスピタリティ・マネジメントコース
4年 I.Rさん
留学費（2024年当時）
滞在費：64万円（週約4万円）
学費：0万円（交換留学のため）
航空費：18万円
食費：24万円（月6万）
その他（観光・交際費など）：20万円（月5万円）

多摩大の留学

グローバルスタディーズ学部で世界に羽ばたく、

Q.1 留学って実際いくらかかるの？

航空券や宿泊費、保険料等のパッケージ費用など約47万円がかかりましたが、大学の奨学金が非常に手厚く、大部分を賄えました。実質的な自己負担は現地での生活費やお小遣い程度で済み、驚きました。



Q.2 留学先の授業についていける？

現地の講義は専門性が高く、英語や韓国語での議論には苦労しました。自分の意見を正確に伝える難しさに壁を感じることもありましたが、先生方の温かいサポートや仲間の励ましのおかげで乗り越えられました。

Q.3 英語力はどのくらい必要？

当時は自信がなく不安もありましたが、「伝えたい意志が大事」だと実感。完璧な語学でなくても対話を続けるうちに実力がつき、結果として英会話の発信力と自信が身につきました。

Q.4 現地で友達はできた？

クラスが同じ人（日本、台湾、ロシアの方）と友達になれました。他にもトウミ®の韓国の方や授業でお世話になった韓国の先生とも仲良くなれました。

※留学生の生活や学習を支援している現地学生のサポーター制度

本場のK-POP文化に触れたことが一番良かったです



ホスピタリティ・マネジメントコース
3年 M.Rさん
留学費（2024年当時）
滞在費：9万円（ホテル2人1部屋、朝食付き）
学費：約12万円
航空費：約6万円
食費：約10万円
その他（観光・交際費など）：10万円

韓国

短期留学：慶熙大学校 1ヶ月



Q.1 留学って実際いくらかかるの？

イギリスへ約3ヶ月の留学でした。プログラム費用の中に、ホームステイ先の滞在費と学費が含まれており、その他、航空費や食費・観光・交際費で約149万円ほどかかりました。

Q.2 留学先の授業についていける？

当初は英語の授業についていくのが大変で、特にグループワークでは、意見をうまく伝えられず悔しい思いもしました。次第に英語を理解できるようになり、積極的に授業に参加できたことで、自分の成長を実感できました。

Q.3 英語力はどのくらい必要？

基礎的な英会話力があると生活や授業に適応しやすいと思います。完璧でなくても、間違いを恐れず話す姿勢と事前のスピーキング練習が大切だと実感しました。

Q.4 現地で友達はできた？

週1回バンガー大学のJapanese Societyに参加し友達を作りました。英語に不安もありましたが、共通の話題で交流することができ、伝わる喜びと成長を実感しました。現地学生との出会いは留学生活の支えとなりました。



イギリス

短期留学：バンガー大学 3ヶ月

本音トーク!!

自分に最適な形のオーダーメイド留学!!

PICK UP!

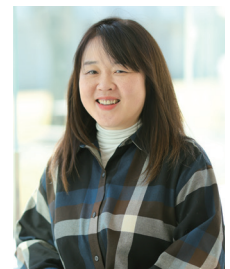
国際交流センターについて

多摩大学グローバルスタディーズ学部の国際交流センターは、学生の海外留学支援や海外大学との交流、外国人留学生の受け入れなどを担当しています。留学相談から渡航準備、住居手配や生活面のサポートまで幅広く支援し、学生が安心して国際交流に参加できる環境を整えています。また、海外研修や提携大学との交流活動の運営を通して、多様な文化理解とグローバルな視野を育むことを目的としており、さらに、来日した留学生の学習や生活を支援し、学内での国際的な交流の活性化にも貢献しています。



安心を設計し、目的を持って世界へ踏み出す

多摩大学グローバルスタディーズ学部の留学支援は、「最初の一步」を支えることから始まります。いきなり長期留学を勧めるのではなく、短期研修など段階的な機会を用意。教員引率や常時連絡体制など安心できる環境を整え、不安を具体的に解消します。そのうえで重視するのが目的意識です。この留学で何をしたいのかを事前に言語化し、自ら考えて行動する姿勢を育てます。帰国後も振り返りの機会を設け、経験を学びとして定着させます。小さな挑戦の積み重ねが、大きな成長へと繋がっていきます。安心の上に主体性を築くこと。それが本学の留学支援の考え方です。



国際交流センター事務課
チェン・ウェンチー係長